

令和2年度浦安市青少年問題協議会議事録（要旨）

1. 開催日時 令和3年3月12日（金）

2. 開催場所 書面会議とした

3. 出席者

（委員）内田悦嗣会長、中村理香子委員、野澤邦彦委員、岡部浩委員、白石嘉雄委員、八田吉浩委員、植草工委員、鈴木忠吉委員、石井靖昭委員、坂田雅則委員、松木新委員、笠井和枝委員、榎本俊夫委員、岩寄剛久委員、吉岡仁委員、森本健二委員、奥村千佳委員、渡辺伸子委員、塩谷祐司委員、森田眞弓委員

4. 次第

報告事項

- (1) 令和2年中における少年非行等の状況について
- (2) 令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について
- (3) ネットパトロールについて
- (4) 浦安市のいじめ・不登校の現状について
- (5) 暴力行為の低年齢化について

5. 議事概要

上記報告事項については、書面会議として、資料に基づき報告した。委員から提出された意見及び質問に対しては、別添のとおり回答を行った。

(別添)

令和2年度浦安市青少年問題協議会
意見・質問及び回答一覧

令和2年度青少年問題協議会 意見一覧

報告	内容	意見・指摘事項など	回答	担当
1	令和2年中における少年非行等の状況について	非行少年の検挙人員（特に浦安警察署管内において）が前年と比較し減少した理由は？	刑法犯認知件数の減少に伴い、非行少年の検挙件数も減少していると思料されますが、引き続き犯罪抑止活動を強化してまいります。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	窃盗犯の4割を“万引き”が占めている現状があるが、少年達には“万引き程度なら”と安易に考えているのでしょうか？	犯行動機は様々で、スーパー、コンビニ等が身近な場所に所在するため犯行に及びやすいことも考えられますが、警察では引き続き少年の健全育成に向けた活動を強化してまいります。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	令和2年度はこの人数で済んでいるが、このあと新型コロナの影響が様々なところに影響を及ぼすのではないかと心配である。子どもたちも進路への不安、学力低下、部活動の継続などに対応できず、ストレスとなって家庭内暴力、校内暴力、飲酒、喫煙、最悪の場合は薬物・ドラッグなどの非行に走ったりしないか心配である。また、ゲーム依存による登校拒否なども心配される。他にも親の仕事の失職、休職、倒産による経済的困窮による経済的な不安や外出制限によるストレスにさらされる中で、育児放棄、家庭内暴力、親による虐待が増加する可能性があるのではないかと思う。	コロナの影響により発生してしまう事案の存在も否定できませんが、児童相談所等との連携による児童の安全確保に努めるとともに、ネットワークの危険性についての教育等を行い、児童の自己防衛能力を強化できるよう努めてまいります。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	市内で非行少年が減少し、特に触法少年やぐ犯少年はゼロとなっています。効果のあった取り組みを確認し、継続すべきと考えます。	警察の取り組みだけでなく、保護者、学校、社会等が犯罪を生み出さない風潮を生み出している結果と考えております。引き続き地域と連携した非行防止活動に努めます。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	令和2年度の不良行為が716件で前年度より1.5倍に増加していて、浦安署は深夜徘徊と喫煙が多いようですが、検挙場所が多い場所はどこですか？	市内商業施設周辺は、人が集まるため頻度が高い場所となりますが、非行防止活動を強化した結果、不良行為少年の補導件数が増加したものと考えております。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	浦安署管内で検挙された少年が浦安の子どもであるとは限らず、逆に管轄外で検挙された少年の中に浦安の子どもがいる可能性もあり、できれば浦安市の子どもたちに焦点を当てた資料を頂きたいです。難しいでしょうか。	浦安市の少年のみに特化した統計を算出することは困難な状況にありますが、警察では引き続き少年の非行防止に向けた活動を強化してまいります。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	非行少年検挙数は新型コロナウイルス禍の中、減少しているが、不良行為少年の前年比プラス242人は気になります。	犯罪少年の抑止活動の一環として、非行防止活動を強化した結果、不良行為少年の補導件数が増加したものと考えております。引き続き少年の非行防止に向けた活動を強化してまいります。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	前年同期と比べて46.2%の減少となり、この傾向が続いてほしいと念願致します。	参考意見とさせていただきます。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	令和2年12月1月現在において、窃盗3人、傷害1人の少年が保護観察中で少年院在所は0人です。千葉県内他の地域と比べて、対象が少ないほうで、これば、各関係団体の努力のたまものと思っております。	保護者、学校、社会等が犯罪を生み出さない風潮を生み出している結果と考えております。引き続き地域と連携した非行防止活動に努めます。	浦安警察署
1	令和2年中における少年非行等の状況について	非行少年は減少しているものの、不良行為少年は増加している。新型コロナウイルスによるストレスが原因かもしれないが、引き続き注視したい。	犯罪少年の抑止活動の一環として、非行防止活動を強化した結果、不良行為少年の補導件数が増加したものと考えております。引き続き少年の非行防止に向けた活動を強化してまいります。	浦安警察署

令和2年度青少年問題協議会 意見一覧

報告	内容	意見・指摘事項など	回答	担当
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	補導について：私も補導員としてパトロールに参加しており声かけするのは、「自転車マナー」がほとんどです。青少年は素直に対応してくれるのですが、大学生や社会人「大人のマナー」の方が悪く、こちらの声かけを無視する人が多く悲しくなります。大人のマナーの改善が必要です！！	市民安全課・警察とも連携を図ってまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	小中学生は自転車の危険行為による声かけのものが大半を占めている。また、パトロールの時間帯も関係して塾帰りによる帰宅指導も多いのではないかと考えられる。新型コロナの影響もあり外出の自粛、早めの帰宅、保護者による塾への送り迎えなどもこの1年で習慣化してきているので、帰宅指導自体の件数も減るのではないと思う。別件ではあるが、自転車の交通ルールについては子どもたちは守っている方だと思う。逆に大人の方が守っていないように感じる人が多い。自転車のかごにパトロールのプレートをつけている自転車がルールを守っていないのをもかけることがあるので残念に思うことがある。	市民安全課・警察とも連携を図ってまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	相談状況の中、いたずら電話や無言電話が、昨年度より3倍増加であったとの報告がありましたが、これもやはりコロナ禍における子どもたちの不安が要因なのでしょうか？	具体的な要因の特定には至っておりませんが、今後も注視してまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	自転車危険行為（夜間無灯火）が多いことが気になりました。本市は、自転車安全教育としてスクエアドストレイドを実施していますが、夜間無灯火の自転車が歩行者等に与える恐怖感についての気づきを得られるプログラムになっていません。夜間無灯火が危ないということを体感できるような工夫が安全教育に加わるとよいと思います。	市民安全課・警察とも連携を図ってまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	相談状況について、コロナの影響で、リアルな人との接触が減って、自宅に家族全員がいて外にSOSを発信できなくなっている可能性を含めより一層アンテナを高く、様々連携を取り注意深く見守っていただけようお願いします。	いたずら電話等の増加も含め、注視してまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	コロナの影響か、相談においてメールによる相談に効果が見られます。一方で、相談者については、連携した対応が減少しています。新しい生活様式の中での相談体制を確認する必要があると考えます。	できるだけ相談の門戸を広げ、相談者に寄り添い、内容によっては適切な機関と連携を図ってまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	やはり「いたずら、無言等」が12件とあるのが気になります。メールでの相談受付も始めたとのことですが、うまく話ができるようにつなげてあげてほしいです。	できるだけ相談の門戸を広げ、相談者に寄り添い、内容によっては適切な機関と連携を図ってまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	地区パトロールご苦労様です。	参考意見させていただきます。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	コロナ禍で新しい状況が起きているかもしれませんが、無言電話等が多くなっているとのことで、注意深く見守ってほしいと思います。	今後も注視を続け、必要に応じ適切な対応を図ってまいります。	青少年センター
2	令和2年度浦安市青少年センター補導・相談状況について	主な特徴に記載のあるとおり、いたずら電話や無言電話が多くなっている点について、シグナルと捉え、見守って行きたい。	今後も注視を続け、必要に応じ適切な対応を図ってまいります。	青少年センター

令和2年度青少年問題協議会 意見一覧

報告	内容	意見・指摘事項など	回答	担当
3	ネットパトロールについて	外出の自粛により子どもたちがインターネットを使う時間が長くなっていることで、オンライン上の性犯罪被害に巻き込まれる危険性が高まっているのではないかと日々のニュースなどで感じる人が多い。 SNSなどを通じて知り合った人物とのやりとりを続けることで、信頼関係を築き、途中から性的な画像を送るよう脅迫される『グルーミング』と言われる行為の被害にあうことや、異性の友人などと性的な画像を送り合うなかでその画像が公開されてしまうといった事例もあるようだ、自分にも娘がおりSNSを使用しているのは知っているので使い方については改めて注意が必要と感じた。 特に中学生は部活動などの連絡手段として携帯電話の所有率が小学生よりも高くなるので特に注意が必要なので、今後も外部委託によるネットパトロールは是非行ってもらいたいと同時に、家庭でも親が子どもたちを守るために使い方については再確認すべきと思う。	引き続き、ネットパトロールを実施するとともに、PTAを対象としたネットパトロール講習会等も検討してまいります。	青少年センター
3	ネットパトロールについて	既に取り組まれているのではないかと思慮しますが、提供した情報をもとに学校で生徒指導を行っていただいてもなお、効果が見られないケースもあると思います。情報の提供に当たっては、新規の内容と継続した案件について明示して提供することが大切ではないかと考えます。	ネットパトロールで得た情報については学校側に提供しています。同一人物による投稿については、特に問題があると思われるものについては、その都度、情報提供しております。	青少年センター
3	ネットパトロールについて	中学校の月別内訳の内、レベル2の有無？と、あればその内容は？ 高等学校の月別内訳の内、レベル2の有無？と、あればその内容は？	レベル2相当の書き込みは主に学校に対する誹謗中傷となります。	青少年センター
3	ネットパトロールについて	青少年センター、業者、学校との連携の仕方が資料からはわかりませんが、パトロールで得られた情報を上手に指導に役立ててください。	ネットパトロールで得た情報については学校側に、生徒指導のため情報提供しております。	青少年センター
3	ネットパトロールについて	ギガスクール構想によりタブレットを使って授業や家庭学習を行います。ネット犯罪の被害者・加害者にならないための取り組み（市の予算を使って学校単位で犯罪防止の授業）を積極的に行う必要を感じます。これまでの対処療法では間に合わない時代に突入しています。	引き続き、ネットパトロールを実施してまいります。	青少年センター
3	ネットパトロールについて	ネット社会につき、益々重要になってきます。今後共よろしく願います。	引き続き、ネットパトロールを実施してまいります。	青少年センター
3	ネットパトロールについて	レベル外の数字がいずれも2桁となっておりますので、見守りをお願いいたします。	引き続き、ネットパトロールを実施するとともに、学校と連携を図ってまいります。	青少年センター
3	ネットパトロールについて	在宅時間の増加に伴い、スマホ、PCにふれる時間も多くなっていると思われる、引き続きパトロールを希望する。	引き続き、ネットパトロールを実施してまいります。	青少年センター

令和2年度青少年問題協議会 意見一覧

報告	内容	意見・指摘事項など	回答	担当
4	浦安市のいじめ・不登校の現状について	いじめについて：小学校で増加しているとのことですが年齢が小さいだけに「人との関わり方」が上手に出来ないからでしょうか？少子化や子どもたちを取り巻く環境の変化で学校だけでなく人間関係を学べる場所が少なくなっていることも原因かと思われます。学校内での対応は難しいと思いますが、先生方に頑張ってくださいたいです。	指導課では、いじめ問題について些細なことであっても認知をし、早期に対応するよう各学校に働きかけており、それが認知件数の増加に繋がっていると考えられます。また、御指摘のように人との関わり方も原因の一つであると考えています。そのため学校でも道徳や学級活動等を通して人間関係づくりを行っています。指導課では、今後も学校が必要に応じて関係諸機関と適切に連携を図ることができるよう支援をまいります。	指導課
4	浦安市のいじめ・不登校の現状について	いじめの件数については、小学生は増加し、中学生では減っているとのことだが、認知されているのは氷山の一角で、中学生以上になると、パソコンや携帯電話を使った誹謗中傷によるものが多く、陰湿になっているので、把握できていないものがまだまだあると思う。また、それが原因で不登校になる子も少なくないのではないかと思う。不登校についても以前、娘から中学1年生の時よりも中学2年生になってからの方が不登校の子が増えていることを聞いたことがある。すべての原因がいじめによるものではないと思うが、それが中学2年生の時に起きて不登校になると、中学3年生ではクラス替えがないため続けて3年生の1年間も不登校になってしまうのではないかとも話してくれたことがある。そうすると毎年、クラス替えを行うなど、不登校の生徒が新しい環境になって学校に戻れるようにするためなどの対策が必要なのではないかと思ったことがある。	いじめ問題については、学校の中だけでなくSNSなどを介して行われるなど、学校が発見しづらくなってきていると言えます。そのため今後一層学校と家庭との連携が不可欠であると考えています。指導課では、学校においていじめアンケートを年4回以上実施するよう定めたり、市スクールライフカウンセラーを全校に配置して児童生徒が相談しやすい体制づくりを整えるなど、いじめの早期発見・早期解決を図ることができるように支援しています。不登校の原因としては、学校での人間関係以外にも様々な要因が考えられ、複雑化しております。そのため指導課では、多角的な視点を持って情報を集め、様々な可能性を想定して不登校の対応にあたるよう伝えています。御指摘のように、新年度にクラス替えを行うことも学校復帰のきっかけとして考えられます。その子の実態に合った適切な支援を行うことができるよう、学校、関係機関と連携を図ってまいります。	指導課
4	浦安市のいじめ・不登校の現状について	いじめは、引き続き認知し、解消に努めていくことが重要と考えます。不登校は、様々な理由があると思いますが、スクールGIGA構想による情報化の推進も対策の一手段と捉えていく必要があると考えます。	いじめについては、今後も学校に対して些細なものも見逃さず積極的に認知するよう促してまいります。不登校の対応については、今年度学校と家庭をオンラインで繋いで担任の先生と面談したり、授業を視聴したり、効果的な活用が図られました。令和3年度においてもさらなる活用が図られるよう学校に働きかけてまいります。	指導課
4	浦安市のいじめ・不登校の現状について	小学校でいじめ認知人数が大きく増加している要因は何か？ どのような内容が考えられるのか？ いじめ解消率の計算方法を教えてください	いじめについては些細なことでも積極的に認知するよう生徒指導主任会議等で各学校に対して伝えており、それが浸透してきたことが認知人数の増加に繋がっていると考えられます。いじめの解消については、文部科学省により、「いじめ等の行為がやんでいる状態が3か月継続し、被害者が心身の苦痛を受けていない状態となったこと」と定義されています。いじめ解消率とは認知件数に対して、解消した件数の割合を百分率で表示したものです。	指導課
4	浦安市のいじめ・不登校の現状について	数値の比較だけでは、現状はよく見えませんが、いじめが解消されていない率が17～22%あるのは気になります。いじめが続いているということでしょうか。いじめ、不登校いずれも個々の案件について、きめ細やかな対応を望みます。	全てのいじめが継続しているということではありません。いじめの解消の定義は、「いじめや行為がやんでいる状態が3か月継続していること」となっていることから、年度末の時点において、1月から3月に新たに認知されたいじめは、まだ解消としていません。いじめの解消に向けては、一時的にその行為が止んだことで安易に解消とせず、日常的に観察を継続していくことが必要であるため、学校は個々の案件についてきめ細かく対応をしています。指導課では、今後も一件でも多くいじめを解消していけるよう、学校と連携を図りながら対応してまいります。	指導課

令和2年度青少年問題協議会 意見一覧

報告	内容	意見・指摘事項など	回答	担当
4	浦安市のいじめ・不登校の現状について	<ul style="list-style-type: none"> ・認知人数が減少しているのは、コロナの影響でしょうか。 ・解消の解決方法は話し合いですか。 ・不登校は学校関係と家庭環境のどちらが多いでしょうか。 	<p>令和2年度のいじめの認知人数については、コロナの影響で一斉休業になったことで4月・5月に学校がなかったことや、3月末でなく11月末の段階での集計になっていることなどの影響で、前年度より少なくなっています。もちろんコロナの影響によって接触の機会が減ったことも関係があると思われま。</p> <p>いじめの解決にあたっては、関係する児童生徒に事実確認を行った上で指導をし、その後保護者に連絡をします。また内容によっては、児童生徒同士や保護者同士で話し合いの場を設けるなどの対応をしています。</p> <p>不登校の要因としては、学校における友人関係や先生との関係、学業不振や進路にかかる不安、家庭環境に関するものなど多岐にわたっており、またそれらが複合している場合も多いことから、学校関係と家庭環境のどちらが多いとは言えません。そのため指導課では、生徒指導主任会議等を通じて、先生方に多角的な視点を持って情報を集め、様々な可能性を想定して不登校の対応にあたるよう伝えています。</p>	指導課
4	浦安市のいじめ・不登校の現状について	前年と比べてやや減少しているものの、引き続き注視をお願いいたします。	本市におけるいじめの認知人数や不登校人数については、一人でも減らすことができるよう、引き続き学校や関係機関と連携しながら、対応を図ってまいります。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	発達障害のお子さん（疑われる方を含む）の保護者からの相談を耳にします。ご病気から来る方、家庭環境に原因があると思われる場合等、さまざまな理由が考えられると思いますが子どもに関わる多機関で情報共有することも重要なことではないでしょうか。	暴力行為に至る原因は様々であり、その対応についても組織的な対応が重要となります。また、暴力行為に至る原因についても、多角的な視点を持ち、関係諸機関との連携は必要不可欠です。現在も多くの機関と連携を取りながら対応しているところではありますが、今後も継続して多くの目で見守っていきたいと考えています。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	<p>個人的な意見になりますが、小学校での暴力行為が多い背景として、未就学児の時に家庭や幼稚園等において暴力行為を行っても保護者がそれを暴力行為として叱るというのをしないため、小学校に上がっても友達に対し暴力行為を行っても本人はふざけている感覚でやっつけてしまっていることが多いのではないかと考えている。</p> <p>また、ゲーム感覚であると、その痛みを自分で感じる事ができないので限度も分からず、ケガをさせることに発展してしまうのではないかと感じる。</p> <p>こういう言い方をすると偏見になるかも知れないが、自分の小さかった時よりも、親が子どもを叱っているところを見る事ができない。叱られてきていない親たちが親になったが、子どもへの接し方も分からず、叱ることが出来なくなっているように感じる事が多い。</p> <p>資料によると、小学校入学段階から暴力に対して指導を行うということが書かれているが、教えない親がいるから最初から学校が教えずにはならないという現状を残念に思う。</p> <p>暴力を振ってしまう原因は人それぞれではあると思うが、暴力が低年齢化しているのであれば小学校に入学してからでは遅いのではないかと感じる。未就学児の子どもたちも理解できるはずもないので、やはり小学校からになってしまい先生方の負担も増えるので、そこはしっかりと家庭で教育してもらいたいと思う。</p>	暴力行為に限らず、児童生徒の健全な育成のためには、学校・家庭・地域での連携が大切になります。特に家庭環境については、その児童生徒の人格形成において最も重要な役割を担っていると考えます。学校は保護者会や面談等を利用して子どもとの関わり方について、保護者と共に考える機会を設けるなど、家庭との連携を密に取りながら指導にあたっています。また、幼稚園やこども園でも、発達段階に応じて善悪の区別や人との関わり方が身につく支援ができるよう、園・小・中で連携を図ってまいります。今後も児童生徒の健全な育成のために、それぞれの役割を意識して対応できるよう努めてまいります。	指導課

令和2年度青少年問題協議会 意見一覧

報告	内容	意見・指摘事項など	回答	担当
5	暴力行為の低年齢化について	とても気にかかりました。自分の気持ちを言語化できない子どもたちが、ストレスの発散を家族ではなく「教師」に向けていく傾向が、子どもたちを取り巻く環境の複雑さ現しているようです。この現実を大人（親も含めて）が共有し、子どもたちを育んでいく仕組みが必要ではと強く感じました。	暴力行為に限らず、児童生徒の健全な育成のためには、学校・家庭・地域での連携が大切になります。特に家庭環境については、その児童生徒の人格形成において最も重要な役割を担っていると考えます。学校は保護者会や面談等を利用して子どもとの関わり方について、保護者と共に考える機会を設けるなど、家庭との連携を密に取りながら指導にあたっています。今後も児童生徒の健全な育成のために、それぞれの役割を意識して対応できるよう努めてまいります。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	対教師暴力・生徒間暴力についてです。ありきたりではありますが、教職員の方には先進的・効果的な取り組みについて視察・研修をお願いし、また、開かれた学校づくりの中で、住民の方が学校の中で見守れるような体制もあるとよいのではないのでしょうか。	現在、各学校の生徒指導主任を対象とした研修を年間3回実施しています。各学校の状況を共有しながら、対応の仕方について協議できる場を設けています。また、夏季休業期間には、教育実践講座として、多種多様な研修の機会を設定しています。今後は、暴力行為の対応について学べる講座の開設について検討してまいります。 見守りについては、学校からの要請を受けて、指導課職員が学校を訪問し児童生徒の生活の様子を確認しています。必要に応じて、対応について助言するなどして、支援体制を整えています。いただいたご意見を参考に、今後の支援方法についても検討を続けてまいります。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	平成29年度から令和元年度にかけて、小学生の暴力行為が増加傾向にあり、対教師暴力が大幅に増加しているとのことですが、どのような行為が多いのか？具体的に説明してください。	対教師暴力については、教師の指導に納得できなかったり、言葉で物事を伝えることが上手にできず、イライラした感情を抑えられずに、教師に対して叩いたり蹴ったりした案件が報告されています。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	浦安市で現在どのように対応しているのかが、資料からは読み取れません。関係機関や他の学校等、広く現状を認識してもらい、多数の意見をもらって対応に活かしてもらいたいと思います。	暴力行為に限らず、学校と教育委員会、関係諸機関と連携を取りながら、対応を行っています。暴力行為に至る原因は様々であり、その状況によって、こども家庭支援センターや児童相談所、まなびサポート等と連携し、多角的な視点で見立てを行った上で、適切な対応ができるよう努めています。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	暴力行為をする児童は家庭でも暴力行為はあるのでしょうか。	暴力行為のある児童生徒については、その原因や環境も様々であり、一概に家庭でも暴力行為があると断定することはできません。しかしながら、複雑な家庭環境が起因しているケースもあるため、関係機関と連携を取りながら、その背景まで把握した上で指導しています。	指導課

令和2年度青少年問題協議会 意見一覧

報告	内容	意見・指摘事項など	回答	担当
5	暴力行為の低年齢化について	家庭、学校の連携は勿論のこと、部活や地域スポーツクラブ等を活用し、子どもとのコミュニケーションを増やしたらどうでしょうか。	子どもが多くの人とコミュニケーションを取ることは、健全な育成には欠かせない要素であるとともに、児童生徒が抱える不安や悩みについて、相談できる人材を増やすことにもつながるものと考えます。現在も、学校・家庭・地域で連携し、多くの方が子どもたちと関わる機会を設けていますが、いただいた意見を参考に、さらなる充実に向けて検討をしたいと思えます。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	小学生の暴力行為が増加傾向にあるとの事で、更なる幼、小の連携、小、中の連携又、地域との連携を密にして強化していただきたい。	子どもが多くの人とコミュニケーションを取ることは、健全な育成には欠かせない要素であるとともに、児童生徒が抱える不安や悩みについて、相談できる人材を増やすことにもつながるものと考えます。市内の小中学校では、「幼保小中連携の日」を設定し、必要な情報を共有する機会を設けています。今後も継続して連携強化に努め、適切な指導に生かせるように努めてまいります。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	共働き家庭の増加や地域との関わりの希薄化等が児童の孤独感を増加させ、過激なゲームに走らせ、その影響を受けやすく、暴力行為を増加させていると思えます。こども会等を通じて、コミュニケーションを図れるようになると良いと思うのですが、コロナ禍に於て不安が残ります。	子どもが多くの人とコミュニケーションを取ることは、健全な育成には欠かせない要素であるとともに、児童生徒が抱える不安や悩みについて、相談できる人材を増やすことにもつながるものと考えます。学校では、タブレット端末を活用し、オンラインで家庭と学校をつないでコミュニケーションを図るなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、児童生徒が疎遠にならないように努めています。	指導課
5	暴力行為の低年齢化について	暴力行為につながる恐れのある、不安やストレスを少しでも和らげる活動をPTAとしても企画推進していきたい。	児童生徒の不安やストレスの解消に向けては、市スクールライフカウンセラーを配置したり、定期的に面談を実施する等、少しでも話しやすい環境となるように努めているところです。学校・家庭・地域の連携は必要不可欠であるため、情報共有をしながら、共に子どもを見守る体制を構築することが大切であると考えます。	指導課